

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和6年10月26日発行 第40号 (令和6年度第8号)

❖学校再編と未来創造検討会 第2回住民検討会

9月15日(日)国見公民館(および鮎川会館)にて第2回住民検討会(意見交換会)が開催され、約50名の住民が参加した。少数意見や小さな声の意見も言いやすくするため「ワールドカフェ」というスタイルで実施され、参加者が7つのグループに分かれて意見交換を行なった。「若い世代の流出を防ぎたい」「大勢の子ども達の中でのびのびと育てたい」「子供の活動の選択肢を増やしたい」「学校統合には賛成だが、公民館が無くなることには反対」「小学校は残したい、中学校は統合」「統合というより、移住促進」等様々な意見が出された。次は11月24日(日)午後の第3回住民検討会で先進事例の紹介や方向性の検討等を行うこととなっている。



❖地区敬老会

10月17日(木)、鮎川会館にて令和6年度の国見地区敬老会が開催され、地区内の75歳以上の約90名が参加した。国見地区自治会連合会の水上会長の主催者挨拶と来賓祝辞(福井市長《代理》、池上市議会議長、松田県議会議員)の後、緑ヶ丘保育園児、国見小学校児童、国見中学校生徒のステージ発表があり、二胡演奏、落語等の催し物が行なわれた。今回は鮎川蕎麦打ち同好会等の有志による手打ちそばの振舞いがあり参加者達をもてなした。

この敬老会は国見地区自治会連合会の事業費¥28万円と市補助金約¥11万円等を財源にして、各自治会や地区社協の役員さん達で実行委員会を編成し運営した。企画運営に携わった役員の皆様、ご苦労様でした。



◆押し花教室

10月6日(日)に国見公民館で押し花教室を開催し、地区の住民11名が参加した。JA女性部国見支部“さくらの会”から土田和美さん、長谷川美枝さん、瀧下秋子さん(いずれも大丹生町在住)を講師に迎え、講師の方々が事前に準備した押し花を使って、押し花はがき、コースターの制作を行った。細かい作業が多く「むずかしい」という声も聞こえたが、参加者は開催時間のギリギリまで作業を続け、思い思いの作品を作っていた。



◆すこやか学級秋の研修会

9月24日(火)国見公民館にて、すこやか学級の秋の研修会が開催され、約40名が参加した。プロ級の腕前と言われるアマチュア落語家「葵亭真月(あおいてい-しんげつ)」さんによる落語3席「茶代」「時そば」「長短(福井弁版)」が披露された。笑うことが健康に良いということから、仲間が集って一緒に笑い合うことによって長寿を実現しようという目的で開催された。特に福井弁にアレンジされた「長短」では会場の参加者の笑いが止まらないような大盛況であった。



◆地区自治会連合会 定例区長会

10月定例区長会<10月7日(月)>の主な議題は次のとおりでした。

- (1) 鮎川会館北側土手の防護柵工事：鮎川会館を「自治会避難所」に位置付市が事業費を全額負担し工事实施予定(令和7年度設計費、8年度工事費)
- (2) 令和6年度地区敬老会：10月17日(木)
 - ①参加予定者：87名②保育園、小学校、中学校発表③二胡演奏④落語⑤そば振舞
- (3) 粗大ごみ回収：11月3日(日)午前9時～
- (4) 定期総会：12月15日(日)夜
- (5) 自主防災組織連絡協議会研修会：11月10日(日)午前
 - ①能登半島地震時の国見の潮位変化②地域防災組織の必要性③防災組織と男女共同参画④炊出しマニュアル解説&実技訓練
- (6) 国見公民館世代間交流事業(学校再編と未来創造検討会)
第3回住民検討会：11月24日(日)午後2時～
- (7) 公民館長選考事務の開始：現館長の任期(2年)：令和7年3月31日まで
 - ①館長公募の実施(12月～1月予定)②選考委員会設置予定

今後開催予定のイベント等(対象:場所)

- 11月3日(日)・・・粗大ごみ回収(地区民:各町内)
- 11月10日(日)・・・国見地区自主防災組織研修会(構成員、地区民:公民館)
- 11月17日(日)・・・国見地区球技大会(地区民:中学校体育館)
- 11月24日(日)・・・学校再編と未来創造住民検討会(地区民:公民館)

❖ 国見中学校和楽器演奏会 in ハピテラス

10月10(木)、福井市のハピテラスで国見中学校恒例の和楽器演奏会があり、生徒13人が琴(1年生)、檜三味線(2年生)、和太鼓(3年生)の演奏を通行人達に披露した。併せて、通行人への国見地区のPRパンフレット配布や大型ビジョンでの国見地区の名勝の放映等、地区の魅力を紹介した。



❖ 青少年環境一斉点検 指摘事項改善状況

7月14日(日)に実施した青少年環境一斉点検で指摘された事項の改善状況は次のとおり。

	指摘事項	対応状況	依頼先
01	鮎川町地係 市道1号線 ガードレール延長 宮本農作業小屋 東の約20m	次年度予算対応予定	市道路課
02	鮎川町36字 杉本家南側 市道1号線南側 土手上の枯れ木が落ちそう	枯れ木を伐採、撤去	鮎川町自治会
03	鮎川町193字 国道305号線沿 石丸選挙事務所前歩 道「R305」標識支柱根元 腐食し折れそう	支柱の一部が腐食だが、直ちに危険な状況ではない。道路パトロール観察継続	県土木事務所
04	鮎川町97字 国道305号線沿 鮎川停留所付近 山側 歩道に直径約20cmの陥没部	陥没部修繕済	県土木事務所
05	鮎川町33字 市道1号線 島田邸 北側 道路中央部に直径約50cmの陥没部	アスファルト補修済	市道路課
06	鮎川町34字 市道1号線 西高家前 市道東側のカーブミラーが倒れ掛け	修繕予定	市道路課
07	鮎川町19字(新町) 山崎家北側交差点 北側角地内のカーブミラー周囲に草	周囲の草刈実施済	鮎川町自治会
08	鮎川町18字(新町) 数馬家南側交差点等 排水溝蓋破損 蓋が落ちそう 3カ所	修繕工事済	市道路課
09	鮎川町19字(新町) 生協きらめき敷地内 円形マンホール 蓋が腐食して落ちそう	修繕工事済	敷地地主
10	鮎川町133字付近 国道305号線沿 志野製塩所敷地内 使用済電柱先端部金具 腐食し機器類が落ちそう	金具撤去工事済	鮎川町自治会
11	鮎川町109字 松ヶ鼻隧道内 ガードレール 錆びて折れている	支柱腐食が進行中、今後支柱更新の予算確保に務める	県土木事務所
12	鮎川町109字 松ヶ鼻隧道 南側口付近 トンネル出口街路灯 電球切れで点滅	修繕済	県土木事務所
13	鮎川町109字 松ヶ鼻隧道 南側口付近 蔦が垂れていて通行障害	現状、通行に支障無し。道路パトロール観察継続中	県土木事務所
14	白浜町10字 林道入口付近 ガードレール腐食 修繕未完了	年度内工事実施予定	県土木事務所
15	大丹生町118字 国道305号線沿 電柱の津波表示板 取付金具破損、通行障害	撤去済	市危機管理課
16	小丹生町45字 国道305号線沿 漁港(新港)入口「追越し禁止」看板 支柱根本が腐食し折れそう	支柱交換済(2本とも)	福井南警察署
17	小丹生町45字 国道305号線沿 神の足跡前 カーブミラー破損	撤去予定	県土木事務所

❖ 国道305号線片側交互通行規制

国道305号線の銚島付近の片側交互通行規制について、国見地区自治会連合会(水上会長、辻岡副会長)と松井館長が工事担当の県福井土木事務所の所長に面談し、工期の見通しを明確にするよう要望した。所長の説明では同規制は本年12月末日までに解消する予定であり、工事内容の詳細については、後日チラシ等で国見地区住民に説明する予定である。面談には地元の松田県議会議員が同席した。

❖ 川西ブロック合同研修会 (市公連・市運審連 共催事業)

「福井市公民館連絡協議会」と「福井市公民館運営審議会連絡会」の共催事業である川西ブロック合同研修会が、10月9日(水)午前、棗公民館にて開催され、川西7地区の公民館と運営審議会関係者約40名が参加した。「オリーブで地域おこし(棗地区の取組)」というテーマで村島哲郎氏(三里浜オリーブ合同会社代表)が講師となりオリーブで地域を盛り上げた棗地区における事例の報告があった。国見からは水上運審委員長、辻岡運審副委員長、松井館長、杉田主事が参加し、講演の後、オリーブ畑で収穫を体験し、搾油加工所を見学した。昨年からはオリーブオイルの搾油を開始しており、その他にも加工品として塩漬け、ドレッシング、お茶等の商品を開発し販売しているとのことであった。



❖ 秋祭 鮎川町

9月22日(日)に鮎川町の秋祭が開催された。あいにくの雨のため子ども神輿は中止されたが、神事や鮎川会館での昼食会が行なわれた。

国見町

9月22日(日)に国見町の秋祭が開催され、長原

集落で神楽舞が奉納された。普段は国見町外に住む若者たちが帰郷し、久しぶりに集落が賑わった

白浜町

10月12～14日に白浜町の秋祭が開催された。地区を神輿が周り集落の各所で神楽舞が奉納された。地区外からの参加者もあり、大いに盛り上がった。

大丹生町

10月13日(日)、14日(月)に大丹生町の秋祭が開催された。神輿や奴行列や子ども達の囃子方、神楽舞が集落の各所で奉納された。地区外の参加者もあり、大いに盛り上がった。

小丹生町

10月13日(日)、14日(月)に小丹生町の秋祭が開催され、神輿が集落を周り、各所で神楽舞が奉納された。普段は地区外に暮している人も集まり、大いに盛り上がった。



❖ 国見の歴史 出前授業

10月8日(火)午前、松井館長が国見小学校5・6年生を対象とした「国見の歴史」の出前授業を行ない「きれいな自然」「歴史と偉人」「神社や由来」「水田と用水の開拓者顕彰碑」等を解説した。受講した小学生は「国見の成り立ち」「古い建物や仏像」「昔話」「伝統行事」の4つのグループに分かれて、自分たちが読んで理解できるようなパンフレットやポスターを作る学習に活用することとなった。

臨海消防署からのお知らせ

これから暖房器具や火気器具を使用する機会が多くなります。火の取扱いには十分注意しましょう。



《住宅防火4つの習慣》

- ① 寝たばこは絶対にしない、させない
- ② ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- ③ こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④ コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

臨海消防署 87-2119
国見分遣所 88-2119